

KEYWARE TIMES

株主通信 Vol.36

第59期 事業報告
2023年4月1日～2024年3月31日

特集 三田社長に聞く
中期経営計画「Vision2026」の
進捗と今後の取り組み



IT can create it.

キーウェアソリューションズ 株式会社
東証スタンダード市場 3799

■ インターネットIR情報

当社は、株主・投資家の皆さまにタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、ホームページの充実をはかるなど、IR活動の向上に取り組んでいます。

キーウェア IR <https://www.keyware.co.jp/ir/>

■ IR情報

■ 個人投資家の皆さまへ
より深く当社グループをご理解いただくために個人投資家の皆さまへ向けた情報を発信しております。

■ 決算説明 (動画配信)
決算説明の動画を資料とともに配信しております。業績報告や今後の戦略などについてご説明しております。

キーウェアソリューションズ 株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
経営企画部 広報IR室
<https://www.keyware.co.jp>



本誌は、植物性インキを使用しています。

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

中期経営計画「Vision2026」の進捗と今後の取り組み

2023年3月期にスタートした5か年中期経営計画「Vision2026」について三田社長に聞きました。

◆ 中期経営計画「Vision2026」の概要について教えてください

2023年3月期にスタートした5か年中期経営計画「Vision2026」では、「基盤事業の質的転換」「プライムビジネスの拡大」「新領域へのチャレンジ」の3つの基本方針を掲げ、事業拡大と高収益化の実現に向けた取り組みを進めています。5年間のうちの前半3年間程度を「Phase1」として、事業基盤の強化、再構築を進め、後半の「Phase2」において基盤事業と新領域の成長をさらに拡大させていく計画としています。



代表取締役社長 三田 昌弘

当社グループにおいて基盤事業とは、売上高の大部分を占めるシステム開発事業とSI事業をいいます。本事業においては、DXを背景にIT投資需要の継続が見込まれていますが、急速に進化する技術や、多様化するお客様のニーズにより、事業環境は常に変化することが見込まれます。そうした変化のなかでも持続的な成長を実現するため、「基盤事業の質的転換」では、プロダクトやクラウドサービスを活用した開発手法の拡大、請負案件の受注拡大、特定チャンネル*1との連携強化、不採算プロジェクトの抑制といった取り組みを進めています。

プライムビジネスは、お客さまと直接契約を結びトータルにソリューションやサービスを提供するビジネスです。「プライムビジネスの拡大」では、ITを積極的に活用

しビジネスや働き方の変革に取り組むお客さまが増えていますので、民間企業をターゲットにお客さまの目標実現を支援するソリューションを提供することでお客さまとの関係を強化し、継続的なサポートを通じてビジネスの拡大を目指しています。

「新領域へのチャレンジ」では、新たな領域への参入や新サービスの創出を通じて、中長期的な成長の基盤を築くための積極的な取り組みを進めています。

数値目標は2027年3月期において、グループ連結で、売上高240億円、営業利益14億円を計画しています。

◆ 中期経営計画2年目を終え、計画の進捗状況や成果を教えてください

2年目まで、業績は売上高、利益ともに概ね計画通りに拡大しています。お客さまからのIT投資需要が継続していることもあり、大型請負案件の受注が堅調なことに加えて、プロダクトやクラウドサービスを活用した案件の受注も好調です。品質を確保しながら短期間での開発を可能にするプロダクトやクラウドサービスの活用が拡大したことで、収益性の向上に貢献したほか、不採算案件の抑制に向けた取り組み

連結業績ハイライト

(単位：百万円、単位未満切り捨て)



*親会社株主に帰属する当期純利益を表記しています。

▶ 連結業績に関して、より詳細な情報を決算説明動画で配信しています。裏表紙に記載のQRコードからご覧ください。

も進み、増益につながりました。特定チャネル^{*1}とは各社との関係強化が進み、連携した営業活動による新規顧客の獲得など新たな実績も出ています。さらにシナジーを高めることで新たな価値の創出を目指したいと考えています。プライムビジネスの拡大に向けては、当社の強みであるERPパッケージを活用した基幹システムの構築や、お客さまのDX実現を支援するソリューションの提供に向けた提案活動に取り組み、新規顧客の獲得や既存のお客さまとの取引の幅を広げています。新領域としては、サイバーセキュリティ領域においてセキュリティ脆弱性診断の提供を開始したほか、デジタル金融領域において案件に参画するなど、取り組みが進んできています。

● 2025年3月期の主な取り組みを教えてください

2025年3月期も引き続き堅調な受注環境を見込んでいます。「基盤事業の質的転換」に向けては、プロダクトやクラウドサービスの活用拡大に向けて、エンジニアの育成にさらに取り組んでいきます。「プライムビジネスの拡大」に向けては、強みであるERPソリューションの提供において競争力をさらに強化するため、最新技術へ

の対応と自社開発テンプレートの機能強化を進めていきます。また近年、クラウドへの移行需要が高まっているため、クラウド環境の構築を担う部門を新設し、システム開発からインフラ構築まで一貫したソリューションを提供する体制を強化しました。お客さまのさまざまな課題に対応する包括的で付加価値の高いソリューションを提案していきます。

さらに、医療ソリューション事業の強化に向けて、グループ内の本事業に関わるエンジニアや営業部員を集約しました。お客さまの課題解決をより強力に支援し、さらなる事業の拡大を目指します。

2025年3月期はPhase1の最終年度にあたります。そのため、単に財務的な数値目標を達成するだけでなく、次のフェーズで成長を加速するための基盤をしっかりと固める取り組みを進めていきます。

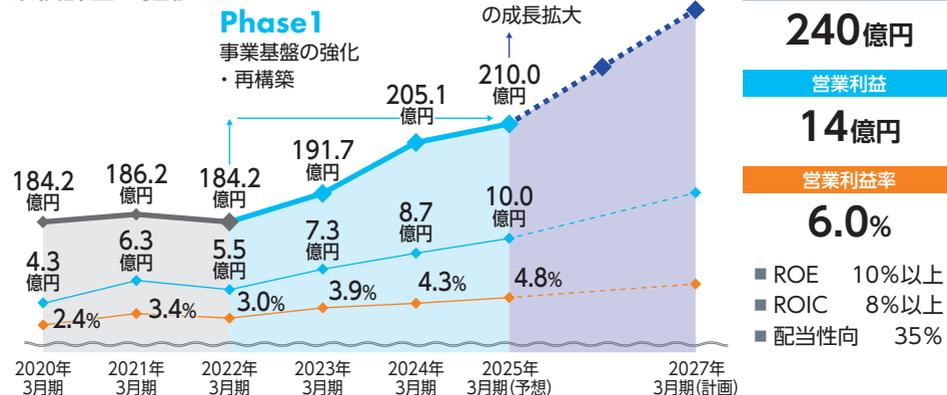
● 株主、投資家の皆さまへメッセージをお願いします

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要事項の一つに位置付けており、創出した利益は積極的に還元していく方針としています。具体的には、配当性向の目標を2027年3月期に35.0%とし、業績の拡大に応じ段階的に引き上げる予定です。また、資本コストを上回る資本収益性を達成するため、2027年3月期にROE 10.0%、ROIC 8.0%を目標に設定し、実現に向けて取り組みを進めております。このような取り組みにより株主の皆さまとの長期的な関係構築をはかり、持続的な成長とさらなる企業価値の向上を目指してまいります。引き続き、当社へのご支援と成長への期待をお寄せいただきますようお願いいたします。

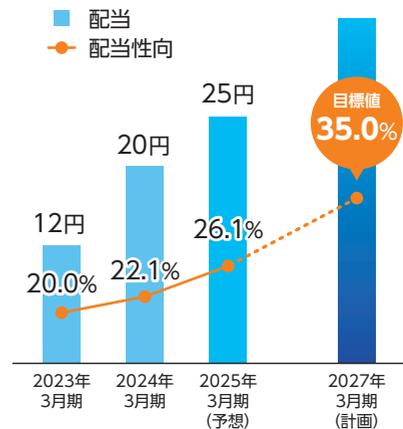
5 年中期経営計画 (2023年3月期~2027年3月期)

「Vision2026」

業績計画と推移



株主還元



※1 株式会社JR東日本情報システム、兼松エレクトロニクス株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社

>>> IT Event

■ DX推進をテーマとした講演やデモンストレーションを各地で実施

当社は、DX推進をテーマに各地で開催されたイベントに出展し、業務最適化コンサルティング、デジタル化ソリューション、各種RPAソリューション、データ連携ソリューションなどの事例紹介やデモンストレーションを行ったほか、当社の首席エバンジェリストがノーコードを活用したDX推進をテーマに講演を行いました。今後もより多くの皆さまに当社サービスを知っていただけるような活動を展開してまいります。



主な展示出展・セミナー開催実績

- 管理部門の業務効率化・DX推進のための展示会バックオフィスDXPO福岡'23 (10月)
- 改めて考えるDXシステム開発2023～内製化かアウトソーシングか!? (10月)
- 石川と未来を繋ぐ「ISHIKAWA DX WORLD」にてDX推進をテーマに講演 (12月)
- テクニカルショウヨコハマ2024 (2月) ● スマートファクトリーJapan2024 (2月)

>>> Project

■ 東北大学が推進する「業務のDX推進プロジェクト4.0」へ参画



東北大学が取り組む「業務のDX推進プロジェクト4.0」に参画しました。本プロジェクトは、DXを活用してニューノーマル時代に相応しい教育・研究環境の実現や、魅力的な職場環境の創出を目指しています。当社は、ITソリューションによる豊富な実績と技術力を活かして、「業務のスマート化チーム」、「業務改革推進チーム」、「業務のイノベーションチーム」、「東北大アプリチーム」に参画しています。2024年度も新たに始まる「業務のDX推進プロジェクト5.0」に引き続き参画し、プロジェクトのミッション遂行を支援してまいります。

>>> Brand-New Business

■ 医療ソリューション事業を集約

本年4月、医療ソリューション事業の強化を目的に、これまでグループ各社に分散していた本事業に関わるエンジニア、営業部員を当社に集約し、ソフトウェアパッケージ、技術、ノウハウなどを統合しました。お客さまの課題解決をより強力で支援するとともに、新たな価値の提供を目指してまいります。

■ 病理検査システム「Medlas-BR」をリニューアルし提供開始

20年以上の販売実績があり、多くの医療機関にご利用いただいている「Medlas-BR」をリニューアルし提供を開始しました。今回のリニューアルでは、業務効率化と医療情報の安全性向上を実現しました。今後も自社開発パッケージソフトウェアの機能改善に取り組み、医療現場の業務効率化と医療サービスの向上に貢献してまいります。



サステナビリティ活動 健康経営優良法人2024 (大規模法人部門) に認定

経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2024」の大規模法人部門に5年連続で認定されました。社員が個々の能力を発揮するためには、心身ともに健全で健康であることが基本という考えのもと、健康経営を推進し、社員が健康でいきいきとやりがいを持って働ける職場づくりのためにさまざまな課題に取り組んでまいります。



当社では、毎年「サステナビリティレポート」を発行しております。当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

▶ <https://www.keyware.co.jp/about/csr/report-index.html>



連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

Financial Data

連結貸借対照表

	前 期 2023年 3月31日現在	当 期 2024年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,368	8,099
固定資産	3,784	4,426
有形固定資産	100	353
無形固定資産	487	444
投資その他の資産	3,196	3,627
資産合計	11,153	12,525
(負債の部)		
流動負債	3,015	3,317
固定負債	330	567
負債合計	3,345	3,885
(純資産の部)		
株主資本	7,760	8,397
その他の 包括利益累計額	47	242
純資産合計	7,807	8,639
負債純資産合計	11,153	12,525

POINT 資産の部

契約資産の減少はありましたが、現金及び預金、建物及び構築物、および投資有価証券の増加などにより、前期末比1,372百万円増加の12,525百万円となりました。

POINT 負債の部

賞与引当金および資産除去債務の増加などにより、前期末比540百万円増加の3,885百万円となりました。

POINT 純資産の部

利益剰余金および退職給付に係る調整累計額の増加などにより、前期末比831百万円増加の8,639百万円となりました。その結果、当期末の自己資本比率は69.0%となりました。

連結損益計算書

	前 期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当 期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	19,173	20,511
売上原価	15,732	16,675
売上総利益	3,441	3,836
販売費及び一般管理費	2,702	2,962
営業利益	738	873
経常利益	921	1,090
親会社株主に帰属する 当期純利益	482	729

POINT 売上高

前期受注した公共系の大型案件の進捗に加え、基幹システム系、インフラ系の大型案件の獲得などにより前期比1,338百万円増加の20,511百万円となりました。

POINT 営業利益

販売費及び一般管理費の増加などはありませんでしたが、売上高の増加に伴う利益増および不採算案件抑制により前期比135百万円増加の873百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

	前 期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当 期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	653	1,183
投資活動による キャッシュ・フロー	△50	△157
財務活動による キャッシュ・フロー	△474	△99
現金及び現金同等物の 増減額	128	926
現金及び現金同等物の 期首残高	910	1,038
現金及び現金同等物の 期末残高	1,038	1,964

POINT 連結キャッシュ・フロー

営業CFは、税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少などにより1,183百万円のプラス。投資CFは、無形固定資産の取得などにより157百万円のマイナス。財務CFは、配当金の支払いにより99百万円のマイナスとなりました。その結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比926百万円増加の1,964百万円となりました。

株式情報

(2024年3月31日現在)

Stock Information

株式情報

- 発行可能株式総数
……………36,440,000株
- 発行済株式総数
……………9,110,000株
- 株主数
……………3,602名
- 主要法人株主
株式会社H B A
株式会社 J R 東日本情報システム
兼松エレクトロニクス株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社
住友生命保険相互会社
株式会社三井住友銀行

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会、期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	(フリーダイヤル)0120-782-031
【インターネット ホームページ URL】	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場

株式に関する手続き

- 住所変更などのお届け出およびご照会について
お取引の証券会社にお問い合わせください。証券会社の口座のご利用がない株主さまは上記の三井住友信託銀行の電話照会先にお問い合わせください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお申し出ください。

会社概要

(2024年6月25日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	キーウェアソリューションズ株式会社
所在地	〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18
創立	1965年5月
資本金	17億37百万円
売上	205億11百万円(2024年3月期・連結)
従業員数	1,272名(2024年3月31日現在・連結)
取得認証・認定	品質マネジメントシステム登録事業者 プライバシーマーク使用許諾事業者 情報セキュリティマネジメントシステム登録事業者 環境マネジメントシステム登録事業者 子育てサポート企業 くるみん認定 健康経営優良法人認定制度(大規模法人部門)認定

役員

代表取締役社長	み た まさ ひろ 三 田 昌 弘	監 査 役	さわ だ のぶ ゆき 澤 田 伸 行
取 締 役	お がわ とし かず 小 川 俊 一	監 査 役	うしろ ね けい じ 後 根 桂 二
取 締 役	さい どう いく お 斉 藤 郁 夫	社 外 監 査 役	たき た ひろし 瀧 田 博
取 締 役	か どう てつ ろう 加 藤 徹 郎	社 外 監 査 役	おお た けん いち 大 田 研 一
取 締 役	すえ つな たく や 末 綱 琢 也		
取 締 役	わき や まさる 脇 谷 勝		
社 外 取 締 役	の だ まき こ 野 田 万起子		
社 外 取 締 役	ステファン グスタフソン		
社 外 取 締 役	たて だ あゆみ 館 田 あゆみ		

- ※取締役 野田 万起子、ステファン グスタフソンおよび館田 あゆみは、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
- ※監査役 瀧田 博および大田 研一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。
- ※取締役 野田 万起子、ステファン グスタフソンおよび監査役 瀧田 博、大田 研一は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員です。